

- ① ・名大病院が肺移植実施施設に認定。  
適応評価から手術まで一貫して対応します。  
・魚沼基幹病院と連携・協力に関する基本協定書を締結しました。  
・術後疼痛管理チームを設置しました。
- ② ・名大病院臨床研修医のご紹介  
・教えて！この言葉  
「放射線検査による医療被ばく」

- ・病院からのお知らせ
- ・ナディック通信
- ・鶴舞公開講座
- ・かわらばん HPのご案内

名古屋大学医学部附属病院

理念 ● 診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。

- 基本方針 ● 1. 安全かつ高度な医療を提供します。 2. 優れた医療人を養成します。  
3. 次代を担う新しい医療を開拓します。 4. 地域と社会に貢献します。

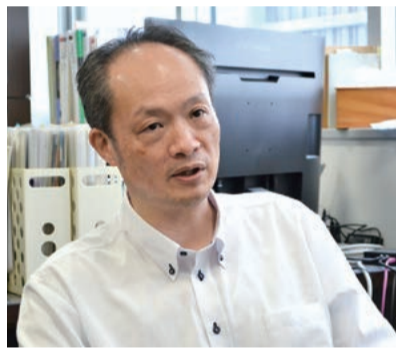
〒466-8560 名古屋市長和区鶴舞町65番地 TEL 052-741-2111 (代表)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

ホームページで「かわらばん」のバックナンバーをご覧いただけます

# TOPICS ① 名大病院が肺移植実施施設に認定。 適応評価から手術まで一貫して対応します。

2023年3月、名大病院は国内で11施設目となる肺移植実施施設に認定され、同年8月より肺移植外来を開設しています。認定の経緯や肺移植医療の今後について、呼吸器外科の芳川豊史教授に伺いました。



▲お話を伺った芳川教授

評価を得る結果、非常に高い

それまでも肺移植患者さんの術前・術後管理を通して各病棟で肺移植医療への理解を深めてきましたが、2021年に肺移植実施施設を目指してワーキンググループを設置すると、各科の医師や看護師、検査技師、放射線技師など多くの職員が参加。それぞれが懸命に学び、国内最大の肺移植実施施設でも研修を受けるなど、病院一丸となつて準備を進めてきました。その結果、非常に高い評価を得

## 病院一丸で準備を進め、高評価を得て認定

院内で肺移植医療を完結できれば、命を救える可能性は広がるはず。最善の医療が肺移植実施施設認定に向けた動きにつながりました。

今回の認定により、引き続き目のない肺移植医療の提供が可能となり、地域の患者さんになりました。当院は今後も患者さんに頼りにされる地域医療の最後の砦として、その責務を果たしていきたいと思っています。

欧米では既に肺移植は日常的な手術であり、日本でもいち早く世界標準の医療を提供する必要があります。それには若手医師の育成が欠かせず、世界と渡り合える力量を養うために、当院では多くの人材が継続して国内外で肺移植のトレーニングを積んでいます。こうして得た高度な手技を患者さんに還元し、肺移植医療をこの地に根づかせることが次の目標です。

## 肺移植医療をこの地に根づかせるために

器移植ネットワークへの待機登録も始まっています。現在はまず脳死肺移植から取り組み、平行して生体肺移植の準備も進めているところです。



▲肺移植判定部会の様子

救える命を救うために最善の医療を

に今回の認定

## 魚沼基幹病院と連携・協力に関する基本協定書を締結しました

2023年5月24日に一般財団法人新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院（新潟県南魚沼市）と連携・協力の推進に関する基本協定書を締結しました。

より良い医療の提供を目指し、地方都市の中核病院である魚沼基幹病院と大都市部の高度急性期病院である当院がもつ強みを活かした人材交流を行います。まずは、7月より当院の助産師1名の派遣を開始しました。これから1年間、魚沼基幹病院で活躍すると同時に、多くの経験を積んでまいります。



## 術後疼痛管理チームを設置しました

当院で手術を受けられる患者さんに対して、安心で安全な術後の疼痛（痛み）管理を支援し、術後回復を促進させることを目的とした術後疼痛管理チームを設置しました。対象は、手術で全身麻酔後の硬膜外や神経ブロックにおける局所麻酔薬の持続的注入、静脈内の麻酔薬の持続的注入を行う患者さんとなります。麻酔科医を中心とし、看護師、薬剤師で構成された術後疼痛管理チームが、術前からの疼痛計画、術中の疼痛管理、術後回診を行い、患者さんの術後の疼痛やむかつき、嘔吐への対策支援を強化します。今後は病棟の看護師との情報交換も一層深めるなど、より良い疼痛管理を目指してまいります。



▲術後疼痛管理チームのみなさん



▲活動をお知らせする院内向けポスター（上記二次元バーコードよりご覧いただけます）

特集 TOPICS 2

# 名大病院 臨床研修医のご紹介

名大病院では医科歯科の研修医が医師としての道を歩み始めています。本シリーズでは、医師を目指して日々取り組む研修医の、フレッシュな意気込みを紹介します。

一人前を目指して 日々勉強中!



## 安部 りあり (医科研修医)

私は現在、脳神経内科でパーキンソン症候群を中心に研修させていただいています。

名大病院での研修は、一人ひとりの患者さんに向き合う時間がしっかりととられ、先生方が業務内容についての指導はもちろん、日々のディスカッションにも熱心に向き合ってくださいのため、大変勉強になっております。また日々の回診では、担当する患者さんとの会話を通じて、教科書では得られない貴重な臨床経験を積ませていただいています。

今春初めて社会に出て、医療人として働くことの覚悟を問われ、挫けそうになることもありますが、職場の様々な方に助けられ、日々励んでいます。少しずつ経験を積み重ね、医療人として精進していきたいと思っております。

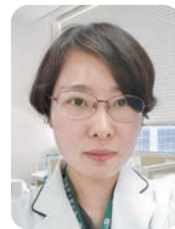


## 岡野 貴江 (医科研修医)

私は個性豊かで、多様性に富んだ同期に恵まれ、現在初期研修医1年目として名大病院で働かせていただいております。

現在、小児科で研修を行っており、子ども達のレジリエンス(困難をしなやかに乗り越え回復する力)の高さには目を見張るものがあると実感しています。大きな榎の木は風が吹くと折れてしまふけれど、細くしなやかな葎の木は風が吹いても枝をしなせながら折れずに堪える事ができる。このことからパスカルは、「人間は、考える葎である」という名言を残したと言われております。

医師として働く上で、心が折れそうになることがあるかもしれませんが、パスカルの言葉を信じ、周りのスタッフさんを信じ、現在医師として働かされている先輩となる先生方への敬意を忘れず、レジリエンスを身に着けながら、少しずつ成長していきたいです。



## 吉田 ひかり (歯科研修医)

私は現在、歯科口腔外科で研修をしています。

研修医となり、4月より歯科医師として社会人生活をスタートしました。医療に従事することが職務ではありますが、歯科口腔外科の先生方、歯科衛生士、歯科技工士の方々は決して日々をルーティン化せず、患者さん一人ひとりに真摯に向き合っています。その姿を間近で拝見することで、技術だけでなく歯科医師としてあるべき姿も学ばせていただいております。

また、研修医の同期からも大きな影響を受けています。北は北海道、南は沖縄と出身も生き立ちも様々ですが、どんな時でも、力を貸してくれる仲間です。患者さん、そして一緒に働く皆さんにも少しでも貢献できる医師となれるよう、感謝を込めて日々研鑽していきたいです。



教えて!

# この言葉

## 放射線検査による医療被ばく

医療機関で放射線を用いた検査(放射線検査)や治療を行って被ばくすることを医療被ばくと言います。一般的なX線撮影やCT検査などの放射線検査では、放射線の一種であるX線を使っており、わずかではありますが被ばくします。従って、検査の必要性が、被ばくのリスクより上回ると判断される場合のみ検査を行います。

放射線検査には患者さんの病気を見つけるという大きなメリットがあるため、法律で放射線量の限度が設けられてはいますが、医療現場では、診断に必要な最小限の被ばくで検査が行えるよう、「最適化」という作業が行われています。当院でも、患者さんの検査目的や体格に合わせて放射線検査の撮影条件を設定し

ており、被ばくを最小限にすることを実践しています。また、医療被ばくの管理のために、「診断参考レベル」といわれる放射線量の適正化指標を用いて、放射線検査の検証を定期的に行っています。

放射線検査は病気の診断や発見において重要な検査です。患者さんご自身も、医師などの相談を通じて、検査の必要性とリスクを理解いただき、安心して放射線検査を受けていただければと思います。

放射線部長 長縄 慎二



▲CT検査室

開講日時: 令和5年12月9日(土)

13時30分~16時30分

会場: 名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 A3階講堂/オンライン視聴

定員 (入場無料・要事前申込): 会場参加120名/オンライン視聴500名

申込締切: 令和5年11月24日(金)※先着順

### 【申し込み方法】

#### ○オンライン視聴の場合

名大病院ホームページより、申込登録フォーム(オンライン視聴用)にてお申込みください。

#### ○会場参加の場合

名大病院ホームページより、会場参加申込書をダウンロードし、郵送またはFAXでお送りいただくか、E-mailにて、「氏名・ふりがな・住所・電話番号・メールアドレス」をご記載の上、お申込みください。申込登録フォーム(会場参加用)からもお申込みいただけます。(名大病院ホームページ)

※トップページ > 「病院からのお知らせ」 > 令和5年度名古屋大学鶴舞公開講座のご案内



URL: <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

★定員になり次第、受付を終了します。会場参加の場合、受講いただけない場合のみご連絡申し上げます。

★本公開講座のチラシは外来棟各階にも設置しています。

### 【問合せ・申込み先】

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65  
名古屋大学医学部総務課総務係 鶴舞公開講座担当  
Tel (052) 744-2228 / Fax (052) 744-2785  
E-mail: iga-tkk@t.mail.nagoya-u.ac.jp

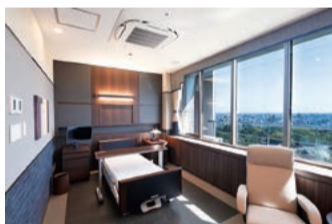
### 【その他】

駐車場のご用意ができませんので、お越しの際は公共交通機関の利用をお願いいたします。

## 令和5年度名古屋大学鶴舞公開講座 「アフターコロナの健康づくり」

## 病院からのお知らせ

### 13階西病棟改修工事完了について



13階西病棟及び個室のリフォームが完了し、稼働を開始しました。鶴舞公園や名古屋市内を眼下に臨む、より快適に治療に専念いただける空間の確保をコンセプトに、リラックス効果の高いブラウンと木目を取り入れた落ち着いた色のある内装としています。また、病室には、特別のアメニティー(シャンプー、リンス、上質なティッシュペーパー等)を整えており、テレビ、床頭台、リクライニングチェアなどの調度品も部屋の内装に併せて一新しております。プライバシーを確保しつつ、快適で気持ち良く過ごしていただける特別病室となっておりますので、ぜひご利用ください。

## Nagoya Disease Information Center

肝疾患診療連携拠点病院 ホームページ



### ナディックの利用休止について

患者情報センター(広場ナディック)は利用を休止しています。それに伴い、患者さん向けの学習会・講演会及び折り紙等の手作り工作教室についても次回の開催予定は未定となっております。皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

肝臓病教室については引き続きオンライン(名大病院公式YouTubeチャンネル)で公開しています。当院・肝疾患診療連携拠点病院ホームページのお知らせ欄からもご確認いただけます。

がん患者さん向けの「ウイッグ・頭皮ケア相談」については外来棟1階「地域連携・患者相談センター」にてがん相談員が随時対応しております。

(問い合わせ先 地域連携・患者相談センター 052-744-2663)

